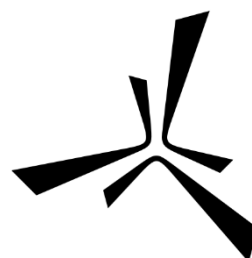


2027 年 4 月入学 広島市立大学大学院 芸術学研究科博士前期課程 学生募集要項

本学所定様式

(以下の出願書類は、別途ダウンロードしてください。)

- [A 票] 入学志願票
 - [B 票] 履歴票
 - [C 票] 受験票・写真票・入学検定料振込証明書貼付票
 - [D 票] 研究計画書
 - [E 票] 作品用紙
 - [F 票] 資料用紙
- 入学検定料振込依頼書



Hiroshima City University

発行：2026 年 10 月

1 アドミッション・ポリシー

広島市立大学大学院は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材、さらに、最先端かつ高度な専門性と深い学識を有し、課題発見・分析・解決能力を持ち、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成することを目標としています。

この目標とする人材を育成するため、広島市立大学大学院は、次のような人の入学を求めています。

- ・ 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- ・ 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- ・ 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

芸術学研究科（博士前期課程）では、次のような人の入学を求めています。

- ・ 美術、デザイン・工芸に関する知識や技術を基に、独創的な表現力を具えている人
- ・ 多様な素材や技術に関する知識を具えている人
- ・ 芸術文化に関わる幅広い知識と研究能力を具えている人
- ・ 芸術を通じた地域文化振興と国際文化交流に関する意欲を持っている人

2 芸術学研究科（博士前期課程）の概要

(1) 専攻の概要

博士前期課程は、造形芸術専攻の1専攻です。基礎から応用まで広範な活動領域において持続的な創作活動を行うことができるよう、美学・美術史などの理論的な習熟を含む高度な創作能力を育成するため、体系的な教育を行っています。

造形芸術専攻各研究領域の教育・研究内容は以下のとおりです。

日本画研究領域	日本画の表現及び技法，材料の理解と造形感覚を修得させ，各自の現代における個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては，各人の個性的な創作力の育成を主体とする研究室と，創作力の育成及び古典模写を通して技法や材料の研究を深める研究室の二本立てとし，指導の多角化を図る。
油絵研究領域	油彩の技法及び材料の理解と実践による造形感覚を修得するとともに，西洋画の絵画構造や理論について研究し，各自の個性的な創作力の育成を図る。教育課程の編成に当たっては，描画表現を基本とした古典研究，現代写実研究，版画研究の制作や理解を通して，造形感覚の習得を図り，個性的な想像力を養う研究室，現代の美術を研究対象とした絵画（油絵に限らない複合的な研究）や，さらにインスタレーション等への展開を通して，個性的な想像力を養う研究室により構成し，多角的な研究指導に配慮する。
彫刻研究領域	学部で修得した基礎的技術を一層高度な芸術性の高いものとするため，塑造，木彫，石彫，金属，ミクストメディア，セラミックスの各工房において，独創的な彫刻の研究を深める。教育課程の編成に当たっては，主要な素材，技法の種別にしたがって2つの研究室により構成し，多角的な研究指導に配慮する。
現代表現研究領域	素材や技法にとらわれず，現代に必要とされる芸術表現の実践と研究を行う。歴史・文化・社会・政治など異なる領域を横断し，理論的な分析や考察を深めるとともに，新たな芸術表現の創出と具体化に向けた研究指導に配慮する。芸術文化の領域において，先端的な表現や活動を行うための高い専門性と実践的能力を兼ね備えて社会で活躍できる人材を育成する。
造形計画研究領域	デザイン及び工芸の使命である「高次元の生活文化の創造」を基盤に据え，独自の美意識を探究し，総合的な視点に基づき，より高度で専門的な造形研究を行う。教育課程の編成に当たっては，多様化，多角化する生活文化や社会環境の中で総合的な視点から考察することを目的として，6つの研究室によって構成し，生活社会を取り巻く諸問題，諸課題への理解と認識を深めるとともに，新たな造形表現の創出と具現化に向けた研究指導に配慮する。
芸術理論研究領域	現代の多様化した芸術表現や社会の要請に対応して，理論研究者，学芸員，ギャラリスト等と創作者が一体となって芸術活動に取り組む例が多く見られており，理論と実践の連携の必要性がより高まっている。 芸術理論研究では，美学，美術史等における理論的な分析や考察の能力を訓練して，高度な専門研究を遂行するための指導を行い，芸術に対する感性と思考力を兼ね備えて幅広く芸術文化に関わる分野で活躍する人材を育成する。

(2) 授与する学位の種類

博士前期課程では「修士（芸術）」の学位を授与します。

(3) 修業年限

博士前期課程の修業年限は2年です。

3 募集人員及び試験会場

研究科	専攻	選抜区分	募集人員	試験会場
芸術学研究科	造形芸術専攻	一般選抜	30名	広島市立大学

4 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者(1)から(8)については2027年3月31日までに取得見込みの者を含む。)

- (1) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条の大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者〔※1〕
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による。）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに22歳に達しているもの〔※2〕

〔※1〕 本学では、中華人民共和国の「高等教育自学考试」は学校教育における16年の課程に含めません。出願資格(10)により、「5 事前審査」の手続に従って所定の期日までに申請してください。

〔※2〕 上記(10)において個別の入学資格審査の対象となる者は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者など大学卒業資格を有していない者」及び中華人民共和国の「高等教育自学考试」履修者です。

5 事前審査

「4 出願資格」の(9)又は(10)の資格により出願しようとする者は、出願資格の認定のため事前審査を行いますので、必ず本学アドミッションセンターへ申し出た上で、以下の書類を提出してください。

郵送する場合は、**書留速達郵便**とし、封筒の表面に「**芸術学研究科事前審査書類在中**」と赤字で記載してください。提出先は4ページ「6 出願手続」の「(4)出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」を参照してください。直接持参の場合の受付時間は午前9時から午後5時までです。土、日、祝日は受付を行いません。

審査結果は、出願期間までに申請者宛に郵送により通知します。

〔事前審査書類〕

- ① 事前審査申請書（本学所定の様式）
- ② 履歴書（本学所定の様式）
- ③ 学歴、職歴、研究歴及びその他学力を証明する書類
- ④ 作品資料ファイル、研究論文及び研究活動の実績を示す資料等審査の参考となるもの
- ⑤ 研究計画書（400字程度）
- ⑥ 返信用封筒（長形3号に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記し、110円分の切手を貼付）

(注1) 本学所定の様式は申し出により交付します。

(注2) 提出書類のうち、①、②、④、⑤は日本語で作成してください。③の書類で、日本語又は英語以外の言語で作成されたものには、日本語又は英語の翻訳を添付してください。

(注3) 日本国外に居住する者は⑥返信用封筒の提出は不要です。

【提出期限】2026年11月10日（火）午後5時まで（必着）

6 出願手続

(1) 出願前の事前相談

出願前に志望する研究室の教員に質問したいことがある場合は、必要に応じて事前相談を実施することができます。事前相談を希望する場合は、本学アドミッションセンターへ連絡してください。本学の在籍者は直接相談して構いません。

(2) 出願期間

2026年12月4日（金）から12月24日（木）午後5時まで（必着）

期限を過ぎて到着した出願書類は原則として受け付けません。ただし、**出願期限前日の12月23日（水）までの消印がある書留速達郵便を日本国内から発送かつ書類の不備が無い場合**に限り、受理します。

(3) 出願方法

出願書類等を一括して角形2号（24.0cm×33.2cm）の封筒に入れ、郵送又は持参の方法により、**出願期間内に**本学アドミッションセンター（本部棟1階）に提出してください（「(5)出願書類等」⑬を除く。）。

郵送の場合は**書留速達郵便**とし、封筒表面には「**大学院入学者選拔出願書類在中**」と赤字で記載してください。

持参の場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。土、日は受付を行いません。

（注）日本国外から出願する場合、郵送にはExpress Mail Service（EMS）やDHL等の追跡サービスの利用を推奨します。

(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

広島市立大学アドミッションセンター

電話 082-830-1503

E-mail nyushi@m.hiroshima-cu.ac.jp

(5) 出願書類等

出願に必要な書類等			作成方法
①	入学志願票	[A票]	本学所定の様式に必要事項を記入してください。記入にあたっては、様式の欄外に記載した「 記入上の注意 」をよく読んでください。
②	履歴票	[B票]	
③	受験票	[C票]	本学所定の様式に必要事項を記入してください。
④	写真票		本学所定の様式に必要事項を記入してください。上半身、無帽、正面向き、背景なしの出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの写真の裏面に氏名、生年月日を記入し、のり付けしてください。 ※ 提出された写真は、入学後の学生証及び本学の教務システムで使用します。
⑤	入学検定料振込証明書貼付票		入学検定料 30,000 円 を、本学所定の振込依頼書により金融機関の窓口で振り込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用できません。振込後、「入学検定料振込証明書」(金融機関の出納印のあるもの)を本学所定の様式の「入学検定料振込証明書貼付票」に貼り付けて提出してください。 なお、ゆうちょ銀行又は郵便局を利用される場合は振込方法が異なりますので、ゆうちょ銀行等窓口にお問い合わせください。 (注) 日本国外に居住する志願者は、入金方法が異なります。詳細は出願前に「(4) 出願先及び出願・受験に関する問い合わせ先」に E-mail で問い合わせてください。
⑥	研究計画書	[D票]	本学所定の様式で作成してください。 A4 判両面印刷とし、ホッチキス止めせずに 提出してください。

出願に必要な書類等		作成方法
⑦	参考資料（任意提出）	⑥研究計画書と関連する参考資料を提出することができます。 提出できるのは「研究計画書」の「3 入学後の研究計画を述べてください。」に関する図像等です。 参考資料は A4 判 1 枚片面でモノクロ印刷したもの を提出してください。 また、資料の右上に氏名を記入してください。動画を参考資料として提出することはできません。 なお、任意提出された参考資料は返却しません。
⑧	外部検定試験の成績証明書等	次に示すア～ウの検定試験のうち、いずれかの証明書（点数（スコア）及び受験者氏名が記載されたもの）を提出してください。ただし、2024 年 4 月 1 日以降に実施され、出願期間最終日までに書類が提出できる検定試験のみを有効とします。原本は受験票に同封し、返却します。 なお、オンライン方式による試験のスコアを提出する場合は、カメラ映像に基づく本人確認が行われ、試験監督者による監視をのもて受験した検定試験の成績のみを認めます。 〔日本語を母語とする人〕 ア TOEIC® Listening & Reading Test（IP テスト可） 〔公開テストを受検した者〕 公式認定証（Official Score Certificate）の原本とそのコピー 1 部 又は TOEIC デジタル公式認定証を印刷したもの 1 部 〔IP テストをマークシート方式で受検した者〕 スコアレポートの原本とそのコピー 1 部 〔IP テストをオンライン方式で受検した者〕 スコアレポートを印刷したもの 1 部 〔日本語以外を母語とする人〕 イ又はウいずれかの試験の成績を証明する書類を提出してください。 イ 日本語能力試験（JLPT） 成績証明書の原本とそのコピー 1 部 又は合否結果通知書の原本とそのコピー 1 部 ウ 日本留学試験（EJU） EJU オンラインのマイページから成績確認書を印刷したもの 1 部 本学が指定する科目「日本語」（「聴解・聴読解」、「読解」、「記述」）を受験すること。
⑨	成績証明書	在籍又は出身大学の学長又は学部長が作成した原本（コピー不可）を提出してください。
⑩	卒業（見込）証明書	在籍又は出身大学の学長又は学部長が作成した原本（コピー不可）を提出してください。 なお、日本国外（中国を除く）の大学等を修了した者で、卒業証明書が大学等から発行されないものは、⑨成績証明書に卒業年月日が記載されている場合に限り、学位証明書の原本（コピー不可）を代わりに提出することを認めます。 〔中国の高等教育機関を卒業した者は以下の 2 点を提出してください〕 ・ 卒業証明書（卒業証書ではありません。） ・ 中国高等教育学生信息网 (https://www.chsi.com.cn/xlcx/) で卒業証書の認証を行い、認証画面を印刷したもの（教育部學歷證書電子注冊備案表）

出願に必要な書類等		作成方法
⑪	【出願資格(2)により 出願する者のみ】 学位授与証明書等	【学位取得者】 学士の学位授与証明書（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行したもの）を提出してください。 【学位取得見込者】 2027年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者は、学位授与申請書の写しを、これから学士の学位授与を申請予定の者は、学士の学位授与申請予定の旨の申立書（様式任意）を提出してください。
⑫	受験票送付用封筒	定形封筒（長形3号，23.5cm×12cm）に住所、氏名を明記し、 110円分の切手を貼付 してください。持参により出願する場合も提出してください。ただし、日本国外に居住する者は、提出不要です。
⑬	作品・資料 対象研究領域： 日本画，油絵，彫刻， 現代表現，造形計画	作品・資料 の提出を課しています。6～8ページの「(7)作品，資料，論文の提出及び返却について」のとおりです。
	論文 対象研究領域：芸術理論	論文 の提出を課しています。6～8ページの「(7)作品，資料，論文の提出及び返却について」のとおりです。

- (注1) ①～⑥の様式，入学検定料振込依頼書は，本学所定の様式を本学ウェブサイトからダウンロードしてください。
- (注2) 出願書類の使用言語は以下のとおりです。**指定の言語以外で作成されたものは受け付けません。**
- ・ ①～⑥は，各様式に記載の指示のとおり作成してください。
 - ・ ⑦は，日本語で作成してください。
 - ・ ⑬資料及び論文は，日本語で作成してください。
 - ・ ⑧～⑩で，日本語又は英語以外の言語で書かれた証明書等には，日本語又は英語の翻訳を添付してください。
- (注3) 出願書類の作成には，黒インクのボールペン（消せるボールペンは使用不可）を使用してください。
- (注4) 作成方法の指示どおりに作成されていない書類がある場合（記入漏れ，翻訳の未添付等）は，出願を受理しないことがあります。
- (注5) 改姓（名）前の証明書を使用する場合の提出書類について，志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された証明書も使用できます。その場合は，改姓（名）の日付と新旧姓（名）を志願者本人が記入した文書（様式は任意）を添付してください。
- (注6) 出願書類の作成・提出に当たっては，自らの責任において，十分に考えたものを提出してください。

(6) 出願上の注意事項

- ① 提出された出願書類に不備・不足がある場合は，出願を受理できません。
- ② 出願書類受理後は，出願事項の変更は認めません。ただし，氏名，住所，電話番号，E-mail アドレスに変更があった場合は，速やかに本学アドミッションセンターまで連絡してください。
- ③ 出願書類受理後は，**A票に記載した提出作品の追加・変更は認めません。ただし，やむを得ない理由により作品の提出を取りやめる場合は，本学アドミッションセンターまで速やかに連絡してください。**
- ④ 一度受理した出願書類及び入学検定料は，**返還しません。**
- ⑤ 入学を許可した後であっても，出願書類の記載と相違する事実の発生や発見があった場合には，入学を取り消すことがあります。

(7) 作品，資料，論文の提出及び返却について

【作品・資料の提出及び返却の手順】対象研究領域：日本画，油絵，彫刻，現代表現，造形計画

提出内容は研究領域により異なります。7～8ページの表を参照してください。

- ① 本学ウェブサイトからE票・F票の様式をダウンロードし，必要事項を記入してください（指定の様式以外での提出は受け付けません。）。なお，**E票・F票は，提出する作品や資料と同じ数を作成し，提出してください。**
- ② F票-1を提出資料の表面に貼付してください。
- ③ 提出作品，E票，F票-1を貼付した提出資料及びF票-2を各研究領域が指定する日時・場所に持参し，**必ず志願者本人が立ち会いのもと**，各研究領域が指定する受付に提出してください。
- ④ 各研究領域が指定する日時・場所で作品及び資料の返却を行いますので，**必ず志願者本人が立ち会い**

のもと、受け取ってください（引き取りのない作品等の保管については、責任を負いません。）。

【論文の提出及び返却の手順】対象研究領域：芸術理論

8 ページの表を参照してください。

専攻	研究領域	研究室	作品，資料，論文の提出及び返却日時等	
造形芸術	日本画	日本画 A・B	提出作品	50号2点（1年以内に制作したものに限る。）
			提出資料	作品ファイル（提出作品以外で5点以上の作品写真（A4判）。各作品の題名，制作年，材質及び寸法を記入のこと。）
			提出日時	1月23日（土）9:00～10:30
			提出場所	提出日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。
			返却日時	1月24日（日）口述試験終了後
			返却場所	返却日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。
	油 絵	油 絵 A・B	提出作品	以下の①又は②のいずれかを提出すること。 （エレベーター（W200cm×H200cm ×D140cm）で搬入可能なもの。それぞれ1年以内に制作したものに限る。） ①100号～150号1点 ②その他の作品1点（立体，インスタレーション作品等）
			提出資料	以下の①と②の両方を提出すること。 ①素描画帖1冊（エスキース，作品プラン，文章を加えてもよい。） ②作品ファイル1冊（各作品の写真。その制作年，寸法を記入のこと。提出作品を含んでもよい。）
			提出日時	1月23日（土）9:00～10:30
			提出場所	提出日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。
			返却日時	1月24日（日）口述試験終了後
			返却場所	返却日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。
	彫 刻	彫 刻 A・B	提出作品	2点以内（1年以内に制作したものに限る。作品の重量は1ピース2t程度までとする。）
			提出資料	作品ファイル（提出作品以外で2点以上の作品写真（A4判）。各作品の題名，制作年，材質及び寸法を記入のこと。）
			提出日時	1月23日（土）9:00～10:30
			提出場所	芸術学部棟5階544彫刻共同研究室で受付後，芸術学研究科担当教員が指示する。
			返却日時	1月24日（日）口述試験終了後
			返却場所	返却日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。
	現代表現	現代表現	提出資料	作品ファイル（動作可能な電子メディアを含んでもよい。Mac OS 14.8以降又はWindows 11以降で，データの読み込み，再生が可能であること。）
			提出日時	1月23日（土）8:30～9:00（筆記試験開始前）
			提出場所	受験票送付時に指示する。
			返却日時 返却場所	提出日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。

専攻	研究領域	研究室	作品，資料，論文の提出及び返却日時等	
造形芸術	造形計画	視覚造形 立体造形 映像メディア造形 金属造形 染織造形 漆造形	提出作品	点数3点以内 ・2年以内に作成したものに限る。 ・映像作品の場合は動作可能な電子メディアで提出すること。Mac OS 14.8以降又はWindows 11以降で、データの読み込み、再生が可能であること。 ・受験者が自ら提出及び展示可能なこと。作品以外に必要なものがある場合は事前に志望する研究室の教員に相談すること。
			提出資料	作品ファイル（USBメモリにデータを保存して提出すること。） ・一つにまとめた作品ファイルをPDF化し、PDFデータをUSBメモリに保存すること。 ・ファイル名は[受験番号.pdf]とし、氏名は使用しないこと。 ・ファイルサイズは100MB未満にすること。 ・Mac OS 14.8以降又はWindows 11以降で、データの読み込み、再生が可能であること。 (注1) 紙媒体等，指定した方法以外での提出は受け付けません。 (注2) USBメモリは提出用と別に予備を用意することが望ましい。予備のUSBメモリに保存するデータも前述のとおりとします。予備のUSBメモリ用にF票を作成する必要はありません。
			提出日時	1月23日(土)13:00～14:00
			提出場所	受験票送付時に指示する。
			返却日時 返却場所	提出日当日，芸術学研究科担当教員が指示する。
	芸術理論	美学美術史	提出論文	芸術理論に関する日本語4,000字以上の論文（同一のものを3部，未発表・既発表の別は問わない。）
			提出期限	1月14日(木)午後5時まで（必着）
			提出方法	郵送又は持参の方法により提出すること。郵送による提出については，提出期限前日の1月13日(水)までの消印がある書留速達郵便を日本国内から発送した場合に限り，期限を過ぎて到着したものも受け付ける。 (注) 持参の場合，受付時間は午前9時から午後5時まで 土，日，祝日及び12月29日から1月3日は受付を行わない。
			提出場所	〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 広島市立大学アドミッションセンター
			返却について	原則として返却しない。試験終了後に，提出した論文の返却を希望する場合は，論文提出時に申し出ること。

(8) 受験票の送付

出願締切後、受験票を送付します。日本国外に居住する志願者には、入学志願票に記載の E-mail アドレス宛に受験票について通知します。2027 年 1 月 8 日（金）までに受験票又は通知が届かない場合は、本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

(9) 入学検定料の返還

既納の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。ただし、返還する際に発生した各種手数料は、志願者負担となる場合があります。

- ① 入学検定料を納入したが、出願しなかった場合
- ② 入学検定料を誤って二重に納入した場合又は誤って所定の金額より多く納入した場合
- ③ 出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合

【返還請求の方法】

①又は②に該当した場合は、出願先に連絡してください。「検定料返還申請書」を E-mail で送付しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

③の場合は、出願書類等の返却の際に「検定料返還申請書」を同封しますので、必要事項を記入の上、出願先の住所宛に郵送してください。

【申請期限】 2027 年 2 月 26 日（金）午後 5 時まで（必着）

(10) 入学検定料の免除

広島市内の者で、入学検定料の納付が著しく困難であると認められる場合は、これを免除します。事前に本学アドミッションセンターに相談し、期限までに申請してください。

（注）広島市内の者とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ① 2027年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所（住民登録が必要）を有している者
- ② 配偶者又は1親等の親族が2027年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所（住民登録が必要）を有している者

【申請期限】 2026年11月13日（金）午後5時まで（必着）

7 2024年4月以降に災害救助法の適用を受けた災害で被災した志願者への特例措置

上記の災害で被災した志願者については、出願後の申請により入学検定料を返還します（出願時には入学検定料の振込が必要です。）。また、合格者については、申請により入学科の減免を受けることができます。

申請手続には本学所定の申請書及び事実を証する書類を要します。詳細については、本学ウェブサイトをご覧ください。

8 受験上及び修学上の配慮を希望する場合

障がいのある等の理由で受験上及び修学上の配慮を希望する場合は、本学ウェブサイトで詳細をご確認の上、2026 年 11 月 6 日（金）までに本学アドミッションセンターに事前相談をしてください。事前相談後、本学ウェブサイトから申請書様式をダウンロードし、申請書を作成の上、必要書類とあわせて以下の提出期限までに郵送により提出してください。なお、相談の内容によっては、対応に時間を要することもありますので、できるだけ早い時期に相談してください。

【申請書類等の提出期限】 2026 年 11 月 13 日（金）午後 5 時まで

【提出書類】 (1) 広島市立大学入学選抜における受験上の配慮申請書（大学院用）
(2) 診断書（医師の作成したもの）

【提出先】 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目 4 番 1 号 広島市立大学アドミッションセンター

【本学ウェブサイト】 <https://www.hiroshima-cu.ac.jp/guide/category0001/c00080213/>

トップページ>入試情報>研究科>受験上の配慮を希望する場合の事前相談

※ 診断書が日本語又は英語以外の言語で書かれている場合は、必ず日本語又は英語の翻訳を添付してください。

※ 不慮の事故等のため受験上の配慮を希望する必要が生じた場合は、速やかに本学アドミッションセンターに申し出の上、申請してください。申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできなかったりする場合には、希望する配慮が行えないこともあります。

※ 申請書に記載された個人情報、受験上及び修学上の配慮内容を検討するために利用します。なお、合格者決定に利用することはありません。

9 個人情報の取扱い

広島市立大学では、「公立大学法人広島市立大学個人情報の保護に関する規程」を定め、個人情報の保護や適切な管理に努めています。

(1) 出願時に取得した個人情報（氏名、生年月日、住所その他）は、入学者選抜（出願処理、選抜実施）、合格者発表、入学手続業務、入学前教育を行うために利用します。

また、出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜の方法の検討や大学教育の改善及び大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画等）のために利用します。

(2) 入学者に関する個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、教務ファイル（学籍簿、成績原簿）として生成した上で、教務関係（学籍・成績の管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免・奨学金申請等）、授業料徴収関係等の業務を行うために利用します。

(3) 上記(1)及び(2)の各種業務での利用にあたっては、全部又は一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた者（以下「委託先」という。）において行うことがあります。この場合、委託先と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、出願時に取得した個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績の全部又は一部を提供します。

(4) 本学の関連団体である同窓会、後援会から入学者確認の業務を円滑に行うことを目的として申し出があった場合、利用目的を限定した上で入学手続者の氏名等を提供する場合があります。

10 入学者選抜方法

試験期日、時間割、集合時刻・場所等は下表のとおりです。

専攻	研究領域	研究室	日 時	集合時刻 集合場所	試験内容及び方法等	
造形芸術	日本画	日本画 A・B	1月23日(土) 9:00～10:30	8:50 芸術学部棟 正面入口	作品・資料提出	7ページ「(7)作品、資料、論文の提出及び返却について」のとおり。
			12:00～17:40	11:40 芸術学部棟 正面入口	実技試験 〔※1〕	人体素描 〔持参物：鉛筆、消し具、鉛筆削り〕
			1月24日(日) 9:00～	8:30 芸術学部棟 正面入口	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。〔パソコン等の使用不可〕
	油絵	油 絵 A・B	1月23日(土) 9:00～10:30	8:50 芸術学部棟 正面入口	作品・資料提出	7ページ「(7)作品、資料、論文の提出及び返却について」のとおり。
			12:00～17:40	11:40 芸術学部棟 正面入口	実技試験 〔※1〕	人体素描 〔持参物：鉛筆・コンテ・木炭（いずれも可）、消し具、鉛筆削り〕
			1月24日(日) 9:00～	8:30 芸術学部棟 正面入口	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。〔パソコン等の使用不可〕
	彫刻	彫 刻 A・B	1月23日(土) 9:00～10:30	8:50 芸術学部棟 正面入口	作品・資料提出	7ページ「(7)作品、資料、論文の提出及び返却について」のとおり。
			12:00～15:00	11:30 芸術学部棟 正面入口	実技試験 〔※1〕	プランニングデッサン：写真により指定された場に対して、彫刻作品の設置のプランニングを行い、デッサンで表現する。 〔持参物：鉛筆、消し具、鉛筆削り〕
			1月24日(日) 9:00～	8:30 芸術学部棟 正面入口	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。〔パソコン等の使用不可〕

専攻	研究領域	研究室	日 時	集合時刻 集合場所	試験内容及び方法等	
造形芸術	現代表現	現代表現	1月23日(土) 8:30～9:00	8:30 芸術学部棟 正面入口	作品・資料提出 〔※2〕	7ページ「(7)作品, 資料, 論文の提出及び返却について」のとおり。
			9:00～13:00		筆記試験	指定された作家についての作家論と自身の作品論。 (作家名については出願期限後に指示) 〔持参物:鉛筆・シャープペンシル(いずれも可), 消しゴム〕
			14:30～	14:00 芸術学部棟 正面入口	口述試験	プレゼンテーション及び質疑応答を行う。試験時間は1人15分程度。 〔パソコン等の使用可〕
	造形計画	視覚造形 立体造形 映像メディア造形 金属造形 染織造形 漆造形	1月23日(土) 13:00～14:00	12:30 芸術学部棟 正面入口	作品・資料提出 〔※2〕	8ページ「(7)作品, 資料, 論文の提出及び返却について」のとおり。
			1月24日(日) 【午前グループ】 9:00～ 【午後グループ】 13:00～ 〔※3〕	【午前グループ】 8:30 【午後グループ】 12:30 芸術学部棟 正面入口	プレゼンテーション 試験	これまでの研究成果と入学後の研究計画について 15 分以内でプレゼンテーションを行う。 レジュメ(発表内容を簡潔にまとめたもの)を必ず5部用意し、プレゼンテーション試験当日持参すること。レジュメ以外に発表用の配付資料がある場合は5部用意すること。 〔パソコン等の使用可〕
					口述試験	プレゼンテーション試験に引き続き個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。 〔パソコン等の使用可〕
	芸術理論 〔※4〕	美学美術史	1月23日(土) 13:00～14:30	12:30 受験票送付時に指示	筆記試験	芸術理論に関する論述問題 ※専門分野に関する英文の読解力を測る内容を含む。 〔持参物:鉛筆・シャープペンシル(いずれも可), 消しゴム〕
			15:30～	15:15 受験票送付時に指示	口述試験	個人面接を行う。試験時間は1人15分程度。 〔パソコン等の使用不可〕

〔※1〕 用紙, カルトン, イーゼルは本学で用意しますので持参は不要です。

〔※2〕 作品・資料の提出時に, データの読み込みや再生ができない場合は本人の責によるものとします。

〔※3〕 プレゼンテーション試験及び口述試験の試験時間帯(午前グループ又は午後グループ)は受験票送付時に通知します。志願者が選択することはできません。

〔※4〕 芸術理論研究領域の志願者は事前に論文を提出する必要があります。詳細は8ページ「(7)作品, 資料, 論文の提出及び返却について」を参照してください。

11 配点・評価基準及び合否判定

(1) 配点・評価基準

アドミッション・ポリシーに基づき以下の項目を評価します。

試験内容	研究領域等	評価基準	配点
作品・資料	日 本 画	テーマ性，基礎的な技術，表現力等を総合的にみる。	300
	油 絵		
	彫 刻		
	現 代 表 現		
	造 形 計 画		
論文	芸 術 理 論	テーマ設定，独自の洞察力，構成力等を総合的にみる。	
研究計画書	全研究領域	研究意欲と研究能力をみる。	50
実技	日 本 画	基礎的な技術，表現力等を総合的にみる。	100
	油 絵		
	彫 刻	発想力，プランニング能力，表現力（デッサン力）をみる。	
プレゼンテーション	造 形 計 画	思考伝達能力と研究能力を総合的にみる。	
筆記	現 代 表 現	専門的な能力，表現力をみる。	
	芸 術 理 論	専門的な研究能力をみる。	
口述試験〔※〕	全研究領域	研究意欲と研究能力，論理的な説明力をみる。	100
合計			550

〔※〕口述試験では提出された全ての出願書類等をもとに，評価基準に基づいて評価します。

(2) 合否判定

実技試験，筆記試験，口述試験等の結果及び出願書類等を総合的に評価し，合格者を決定します。

12 受験上の注意事項及び不正行為について

(1) 受験上の注意事項

- ① 受験者は10～11 ページ「10 入学者選抜方法」で指定している時刻・場所に集合してください。
- ② 実技試験及び筆記試験については，試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし，遅刻者の試験時間の延長は認めません。
- ③ 口述試験及びプレゼンテーション試験の開始時刻に受験者控室に不在であった場合には，欠席したものとして取り扱います。
- ④ 当日，受験票を忘れた者は，速やかに仮受験票発行所で仮受験票の交付を受けてください。
- ⑤ 課せられた試験（作品等提出を含む）を一つでも受験しなかった者は受験資格を失います。
- ⑥ **緊急で受験者に連絡する事項がある場合は，本学のウェブサイトに掲載します。**

(2) 不正行為について

- ① 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，その場で受験の中止と退室を命じられ，受験資格を失います。なお，不正行為については，状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。
 - ア 入学志願票，受験票，顔写真へ故意に虚偽の記入をすること（本人以外の写真を使用する又は本人以外の情報を記入することなど。）
 - イ 解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入することなど。）をすること。
 - ウ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること，教科書，参考書，辞書等の書籍類の内容を見ること，他の受験者の答案等を見ること，他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - エ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - オ 配付された用紙等を，その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。なお，監督者の指示がない限り，配付物は一切持ち帰ってははいけません。
 - カ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - キ 「解答ははじめ。」の指示の前に，解答を始めたりすること。
 - ク 実技試験及び筆記試験の時間中に，持参物（10～11 ページ表中の「試験内容及び方法等」参照）に指定されていない用具を使用すること。

ケ 試験時間中に、電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等）を使用すること。

※ 通信機能のある電子機器類（携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末等）は、かばんの中にしまっていなければ、電源が切られていても、使用しているものとし、不正行為となります（衣類のポケット等に入れていた場合も、使用しているものとし、不正行為となります。）。

※ イヤホンは、耳に装着していれば使用しているものとし、不正行為となります（試験時間中、病氣・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請が必要です。）。

※ ただし、作品・資料提出、プレゼンテーション試験、口述試験において使用が認められているものはこの限りではありません。

コ 「解答やめ。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴム等を持っていたり解答を続けたりすること。

サ 試験会場内で写真撮影や録画を行うこと。

② ①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、①と同様です。

ア 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。

イ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。

ウ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。

エ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。

オ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

③ 提出した作品、資料及び論文は、すべて本人の活動及び制作物でなければなりません（作品ファイルに他者と共同で制作した作品等を掲載することは認めますが、必ず自分の担当を明記してください。）。これに反することが判明した場合は、入学者選抜の対象としません。合格決定後であっても同様です。

13 合格者発表

(1) 発表期日

2027年2月5日(金)正午

(2) 発表方法

① 合格者には合格者発表日に合格通知書と入学手続書類をレターパックプラス（対面での配達）で発送します。本学の掲示板では合格者発表の掲示は行いません。

② 志願者本人のみ、合否照会システム (<https://www.gouhi.com/hiroshima-cu/>) において合否の確認ができますが、参考情報ですので、合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。

③ 電話、E-mail等による問い合わせには応じません。



14 入学手続

(1) 入学手続期間

2027年3月1日(月)から3月15日(月)午後5時まで(必着)

(2) 入学手続方法

① 入学手続の詳細及び必要な書類等は、合格通知書とあわせて直接本人に送付します。

② 入学手続書類は必ず**書留速達郵便とし、入学手続期間内に必着**するよう郵送してください。

③ 入学手続期間最終日のみ持参による提出を受け付けます。受付場所は本学本部棟受付会場です。受付時間は、午前9時から午後5時までです。

④ 入学手続を完了した者には、入学手続期間終了後に入学許可書を送付します。

(3) 提出書類

① 受験票

② 誓約書（本学所定の様式）

③ 卒業証明書又は修了証明書【卒業見込又は修了見込で出願した者のみ】

④ パスポートのコピー【外国人留学生のみ】

⑤ 学費等の経費支弁に関する確認書（本学所定の様式）【外国人留学生のみ】

⑥ 日本語教育機関等に在籍していた場合は出席証明書【外国人留学生のみ】

(4) 入学手続上の注意事項

- ① 期間内に手続を行わなかった者については、入学を辞退したものとして取り扱います。
- ② 必要な書類がすべてそろっていない場合には受理できませんので、書類の提出の際には、十分確認してください。
- ③ 一度受理した入学手続書類及び納付された入学料は返還しません。
- ④ 卒業（修了）見込で出願した者は、卒業（修了）後、速やかに卒業（修了）証明書を提出しなければなりません。また、入学日前日までに所定の入学資格を取得することができなかった者は入学許可を取り消します。

15 納付金等

(1) 入学手続までに納付するもの

納付金		金額
入 学 料	広島市内の者〔※〕	282,000 円
	上記以外の者	423,000 円

〔※〕 広島市内の者とは、次のいずれかに該当する者のことをいいます。

- ① 2027年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所（住民登録が必要）を有している者
- ② 配偶者又は1親等の親族が2027年4月1日時点で、継続して1年以上広島市内に住所（住民登録が必要）を有している者

(2) 3月末に納付するもの

納付金	金額
後援会費〔※〕	20,000 円

〔※〕 後援会は、会員学生の就職支援セミナーの実施の補助や就職に関係する活動に伴う旅行経費の補助、クラブ活動への助成、スポーツ用品等の貸出及び記念品の製作・贈呈など学生の福利厚生を支援しています。納付についての詳細は、入学手続時に案内します。

(3) 入学後に納付するもの

納付金	金額	納付時期
授業料 (年額 535,800 円)	267,900 円	4 月末まで
	267,900 円	10 月末まで
学生教育研究災害障害保険料・ 学研災付帯賠償責任保険料 (保険期間 2 年間)	2,430 円	4 月末まで

2026 年 4 月現在の金額です。金額の改定を行った場合には、改定時から適用します。納付についての詳細は入学後に案内します。

(4) 入学料・授業料の減免等

- ① 入学料の減免
次のいずれかに該当し、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の減免を受けることができます。入学手続までにご相談ください。
ア 入学前 1 年以内に、学資を主として負担している者が死亡した場合
イ 入学前 1 年以内に、入学する者又は学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
ウ 入学する者が広島市内の者であり、生活保護法の規定による保護を受けている世帯に属している場合
- ② 授業料の減免又は徴収猶予
経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合には、授業料の減免又は徴収猶予を受けることができます。詳細は、本学ウェブサイトをご覧ください。

研究領域、研究室及び指導教員一覧

専攻	研究領域	研究室	教育研究の概要	指導教員	
造形芸術	日本画	日本画A	制作主体のカリキュラムを通して、表現・技法及び材料についての理解を深めるとともに造形感覚の修得を図り、個性的な創造力を養う。	教授 教授	今村 雅弘 荒木 亨子
		日本画B	制作と合わせて模写による古典研究を行う。高度な古典模写を通して技法や材料についての研究を深め、個性的な創造力を養う。	教授 講師	前田 力 古賀 くらら
	油絵	油絵A	描画表現を基本とした古典研究、現代写実研究、版画研究の制作や理解を通して、造形感覚の習得を図り、個性的な想像力を養う。油絵及び版画の研究や理解を通じて造形感覚を習得させ、多彩な表現方法において個性的な想像力の育成を図る。	教授 教授 講師 講師	石黒 賢一郎 釣谷 幸輝 フィン, マシュー 大熊 弘樹
		油絵B	現代の美術を研究対象とした絵画(油絵に限らない複合的な研究)や、さらにインスタレーション等への展開を通して、個性的な想像力を養う。絵画及び現代アートの研究や理解を通じて造形感覚を習得させ、多様な表現方法において個性的な想像力の育成を図る。	教授 講師	志水 児王 大東 忍
	彫刻	彫刻A	時代を超えた強度ある表現を、素材・造形・空間の関係性を念頭に追求し、技法として木彫・石彫・塑造を中心に高次の彫刻作品の確立を目指す。	教授 講師	田中 圭介 大島 由起子
		彫刻B	現代の状況を見据えた独創的な表現を、素材・造形・空間の関係性を念頭に追求し、技法として金属・ミクストメディア・テラコッタを中心に高次の彫刻作品の確立を目指す。	准教授 講師	岩崎 貴宏 山本 聖子
	現代表現	現代表現	現代に必要とされる芸術表現を研究するとともに作品のプレゼンテーションを修得し、アートマネジメント等にも対応できる能力を修養する。	准教授 講師	古堅 太郎 長坂 有希
		視覚造形	ヴィジュアル・コミュニケーション・デザインを通じて、社会的課題に主体的にアプローチするとともに、視覚表現の新しい可能性を探究する。	教授 講師	中村 圭 鹿田 義彦
	造形計画	立体造形	プロダクトデザインの文脈から、人とモノの関係を多視点から考察するとともに、人とモノ、場との関係における新たな表現の可能性を探究する。	准教授	藤江 竜太郎
		映像メディア造形	多様な映像メディアを用いた新しい視覚体験を創出することを目的とした創作研究を行い、自らの芸術活動と、映像媒体の可能性を探究する。	教授 准教授	笠原 浩 城井 文
		金属造形	我国の金属工芸の歴史を深く理解し、現代社会との関わりの中で高次の制作研究を深め、現代における金属造形の可能性と独自の表現を探究する。	教授 准教授	永見 文人* 内堀 豪
		染織造形	染織芸術における伝統技法と現代テクノロジーを基盤に、素材・技術・知識による高度な研究と創造力を融合させ、現代社会の中で新たな表現を探究する。	教授	野田 睦美
		漆造形	古くから生活と深い関わりを持つ漆に関し、その沿革、採取、性質、精製、用具材料、多岐にわたる技法等を探究する。	教授 准教授	大塚 智嗣 青木 伸介
	芸術理論	美学美術史	美学、美術史等における理論的な分析や考察の能力を訓練し、幅広く芸術文化に関わる分野で活躍できる能力を修養する。	准教授 准教授 准教授	城市 真理子 石松 紀子 石谷 治寛

(注1) 指導内容及び指導教員は2026年4月1日のものです。

(注2) *の教員は2028年3月末退職予定です。志望にあたり留意してください。



- 16